



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 アツギ株式会社

コード番号 3529 URL <http://www.atsugi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 洋志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括 (氏名) 岡田 武浩

TEL 046-235-8107

四半期報告書提出予定日 平成28年8月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	5,204	△5.8	6	—	△65	—	△90	—
28年3月期第1四半期	5,524	△1.7	△36	—	167	831.1	119	291.0

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △1,737百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 691百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△0.55	—
28年3月期第1四半期	0.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	55,012	46,093	83.6
28年3月期	56,944	48,324	84.6

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 45,976百万円 28年3月期 48,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,800	2.4	390	131.6	500	25.1	350	17.0	2.13
通期	24,500	2.2	880	1.4	1,100	△3.7	800	△33.0	4.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	173,195,689 株	28年3月期	173,195,689 株
29年3月期1Q	8,744,267 株	28年3月期	8,736,317 株
29年3月期1Q	164,453,617 株	28年3月期1Q	168,496,041 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策のもと、一部企業による収益・雇用情勢の改善などにより、緩やかな回復傾向がみられました。一方で、中国をはじめとした新興国経済の減速懸念や英国のEU離脱問題などによる不安定な為替・株式市場等の影響などにより、引き続き先行き不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、低調な個人消費や企業間競争が一段と激化するなど、依然として厳しい環境にあります。

このような状況において当社グループは、中期経営計画『ATSUGI VISION 2017』の2年目のスタートにあたる当第1四半期連結累計期間を重要な位置づけとして、「製造原価の低減」、「強いアツギブランドの構築」、「営業戦略の強化」、「海外販売の拡大」、「人事戦略の強化」の5つの課題を念頭に置き、原料加工から最終製品までを一貫生産し販売する専門メーカーとしての特性を活かし、価格を上回る価値ある商品の企画開発と、グループ全社を挙げて効率性アップに取り組み、収益改善に努めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は 5,204 百万円(前年同四半期比 5.8%減)、営業利益は 6 百万円(前年同四半期は 36 百万円の損失)、経常損失は 65 百万円(前年同四半期は 167 百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は 90 百万円(前年同四半期は 119 百万円の利益)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

〔繊維事業〕

靴下部門はプレーンストッキングが引き続き売れ筋となっているものの全般的には厳しく、ファッション商品やソックスも伸び悩み、同部門の売上高は 4,312 百万円(前年同四半期比 8.3%減)となりました。

インナーウェア部門はスポーツインナー関連が順調に推移し、同部門の売上高は 573 百万円(前年同四半期比 2.3%増)となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は 4,885 百万円(前年同四半期比 7.1%減)、営業損失は 122 百万円(前年同四半期は 159 百万円の損失)となりました。

〔不動産事業〕

不動産事業は保有資産の有効活用などにより、当事業の売上高は 167 百万円(前年同四半期比 0.9%増)、営業利益は 113 百万円(前年同四半期比 10.3%減)となりました。

〔その他〕

その他の事業につきましては、介護用品の市場環境の変化などにより、厳しい状況が続いております。また、平成 27 年 11 月 6 日より太陽光発電による売電を開始いたしました。これらの結果、当事業の売上高は 151 百万円(前年同四半期比 55.3%増)、営業利益は 16 百万円(前年同四半期は 3 百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は 55,012 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,931 百万円減少いたしました。これは主に、売上債権の減少 1,098 百万円、たな卸資産の増加 756 百万円、投資有価証券の減少 745 百万円および現金及び預金の減少 392 百万円等によるものであります。

負債の部は 8,919 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 299 百万円増加いたしました。これは主に、通貨オプションの増加 596 百万円、繰延税金負債の減少 187 百万円等によるものであります。

純資産の部は 46,093 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2,231 百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失 90 百万円の計上や、前期決算に係る配当金 493 百万円による減少およびその他の包括利益累計額の減少 1,633 百万円等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は 83.6%(前連結会計年度末は 84.6%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 29 年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、平成 28 年5月 13 日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成 28 年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成 28 年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第 32 号 平成 28 年6月 17 日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成 28 年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常損失および税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第 26 号 平成 28 年3月 28 日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,675	8,282
受取手形及び売掛金	4,279	3,181
商品及び製品	4,389	5,133
仕掛品	2,052	2,149
原材料及び貯蔵品	636	552
繰延税金資産	265	458
その他	345	287
貸倒引当金	△9	△8
流動資産合計	20,634	20,036
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,759	5,572
機械装置及び運搬具(純額)	3,744	3,484
土地	16,310	16,310
建設仮勘定	131	87
その他(純額)	184	172
有形固定資産合計	26,130	25,627
無形固定資産	371	335
投資その他の資産		
投資有価証券	9,199	8,453
繰延税金資産	0	1
その他	606	557
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	9,806	9,012
固定資産合計	36,309	34,975
資産合計	56,944	55,012

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,566	2,829
未払法人税等	216	59
賞与引当金	119	39
その他	1,266	1,740
流動負債合計	4,169	4,669
固定負債		
繰延税金負債	885	698
再評価に係る繰延税金負債	1,850	1,850
退職給付に係る負債	1,320	1,319
その他	394	381
固定負債合計	4,450	4,249
負債合計	8,619	8,919
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,706	31,706
資本剰余金	9,345	9,345
利益剰余金	4,981	4,397
自己株式	△942	△943
株主資本合計	45,091	44,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,587	2,018
繰延ヘッジ損益	△36	△449
土地再評価差額金	△406	△406
為替換算調整勘定	958	307
その他の包括利益累計額合計	3,103	1,470
非支配株主持分	129	116
純資産合計	48,324	46,093
負債純資産合計	56,944	55,012

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	5,524	5,204
売上原価	3,818	3,400
売上総利益	1,706	1,804
販売費及び一般管理費	1,742	1,797
営業利益又は営業損失(△)	△36	6
営業外収益		
受取利息及び配当金	102	105
持分法による投資利益	2	—
為替差益	108	—
その他	15	18
営業外収益合計	229	124
営業外費用		
持分法による投資損失	—	8
減価償却費	5	2
租税公課	6	5
為替差損	—	168
その他	12	12
営業外費用合計	24	196
経常利益又は経常損失(△)	167	△65
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	13	4
特別損失合計	13	4
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	155	△70
法人税、住民税及び事業税	56	28
法人税等調整額	△20	△10
法人税等合計	35	18
四半期純利益又は四半期純損失(△)	119	△88
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	119	△90

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	119	△88
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	434	△569
繰延ヘッジ損益	25	△413
為替換算調整勘定	103	△623
持分法適用会社に対する持分相当額	8	△42
その他の包括利益合計	571	△1,648
四半期包括利益	691	△1,737
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	688	△1,724
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	5,261	166	5,427	97	5,524	-	5,524
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	-	0	-	0	△0	-
計	5,261	166	5,427	97	5,524	△0	5,524
セグメント利益又は損失(△)	△ 159	126	△ 33	△ 3	△ 36	-	△ 36

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売および太陽光発電事業であります。なお、太陽光発電設備は建設中であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	4,885	167	5,053	151	5,204	-	5,204
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	-	1	-	1	△ 1	-
計	4,886	167	5,054	151	5,205	△ 1	5,204
セグメント利益又は損失(△)	△ 122	113	△ 9	16	6	-	6

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売および太陽光発電事業であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。